



## 展覧会概要

人は生まれてから生涯を終えるまでの間、誕生や成長・成人・結婚や葬儀といったさまざまな人生の節目における儀礼を経験します。一口に「冠婚葬祭」とも呼ばれるこれらの通過儀礼は時代や身分によっても異なります。江戸時代の大名家においても、数多くの通過儀礼が行われ、このなかには、家督相続後初めて将軍へ御目見えする、大名ならではの儀礼も含まれていました。

本展覧会では、大名家において行われたさまざまな儀礼を、尾張徳川家の伝来品を中心にご紹介します。

## 展覧会基本情報

- ◆展覧会名 企画展 大名の冠・婚・葬・祭
- ◆会場 蓬左文庫展示室
- ◆会期 2022年5月28日(土)～7月18日(月・祝)
- ◆開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- ◆休館日 月曜日(但し7月18日(月・祝)は開館、翌19日(火)は閉館)
- ◆観覧料 一般1,400円 高・大生700円 小・中生500円  
※本館展示室にて同時期開催の特別展「名刀正宗と相模伝」と共通  
※20名様以上の団体は一般1,200円 高・大生600円 小・中生400円  
※毎週土曜日は高校生以下無料
- ◆作品数 58件 ※会期中展示替えあり
- ◆主催 徳川美術館 名古屋市蓬左文庫
- ◆協力 名古屋市交通局

## プレス内覧会

2022年5月27日(金)

プレス内覧会：午後1時30分～3時 受付：午後1時15分 会場：徳川美術館 講堂

展覧会担当学芸員による概要解説の後、自由取材。

特別展「名刀正宗と相模伝」のプレス内覧会も同時に開催いたします。

・内覧会開催日に限らず、取材は随時承ります。

・動画撮影につきましては開館時間外も対応いたしますので、ぜひお気軽にご相談ください。

## 冠婚葬祭とは何か？

冠婚葬祭とは、昔から受け継がれ習慣となった、人生の節目における儀式や慶弔行事の総称です。「冠」は、男性が成人した時に被り物である冠を着けたことに由来する名称で、現代の成人式に相当します。成人式以外には誕生後の宮参りや七五三、還暦や米寿などの長寿の祝いなどがあります。「婚」は、男女が一家を構える結婚を意味し、婚礼にまつわる結納や祝宴なども含まれています。

「葬」は、人生の終焉を悼む葬送の儀式のことで、葬送に付随する通夜やその後の法会などが挙げられます。「祭」は、先祖の霊を祀る儀式一般をさし、正月や彼岸、盆といった年中行事や中元や歳暮の習慣も「祭」に含まれます。

## 〈冠〉 誕生から成人へ

乳幼児の死亡率が高かった江戸時代においては、大名家の子どもといえども出産時の事故やその後の病気による生命の危険を免れることは容易ではありませんでした。そのため誕生後七日目の「お七夜」や「お宮参り」など、生まれた子が無事成長するよう願うさまざまな儀礼やまじないが行われました。また子どもから大人へと成長するまでも、節目を祝う行事が折々に行われ、男女とも三歳になった時に髪を伸ばしはじめる髪置、男の子が五歳に行う初めて袴を着ける着袴、七歳の女の子が付帯の着物をやめ、本式の帯をしめる帯解などの行事がありました。



赤色地蔓葵紋付子持筋熨斗目  
徳川綱誠（尾張家3代）・吉通（尾張家4代）幼児服  
江戸時代 17世紀 (6/21~7/18公開)



徳川直七郎（齊温・尾張家11代）宮参り行列図二巻の内（部分）

十五歳前後で成人年齢を迎えると、服装や髪型とともに名前を改める元服と呼ばれる儀式を行います。江戸時代の武士の場合は幼名を改めるとともに、月代を剃って髻を結います（前髪執）。この元服の際、尾張徳川家の当主やその後継者は、将軍から名前の一文字（偏諱）を賜って新しい名前が付けられました。これを「御一字頂戴」といい、擬似的な親子関係を結んでいることを意味することで、将軍家とのつながりの深さを示しました。

また、家督を継いで当主となることは、大名個人の一生のなかで最大の出来事でした。大名の家督相続は幕府への届け出と許可を必要とし、江戸城で将軍の御目見えを果たして完了しました。大名は家督を相続して家の所領を相続するとともに、将軍に仕える義務が生じます。将軍から領国への帰国が許され、当主として初めてお国入りする「初入国」もまた、大名家にとっての一大慶事でした。



黒塗白糸威具足  
徳川綱誠（尾張家3代）・義直（尾張家16代）所用  
江戸時代 17世紀



青貝微塵塗刀拵  
(小脇指 銘 赤間綱信 附属)

青貝微塵塗脇指拵  
(短刀 銘 赤間綱信 附属)  
安千代（尾張家14代慶勝6男）所用  
江戸時代 19世紀



徳川家光一字書出 徳川光義（光友）宛  
寛永十年十二月廿九日  
江戸時代 寛永10年（1633）

## 〈婚〉 尾張家の婚礼

戦国時代の大名家同士の婚礼には、軍事同盟を築くための人質の意味合いが強かったのですが、江戸時代になると互いの家格を意識した家同士の結びつきへと目的が変容しました。尾張徳川家は将軍の縁戚であることから、二代光友と十代斉朝の正室には、将軍の娘の降嫁があり、四代吉通・六代継友・九代宗睦・十一代斉温のそれぞれ正室は、公家のなかでも最高の格式を誇る五摂家から迎えました。



二十一代集（附 葵紋散蒔絵書物筆筒 四十冊の内  
転院院好君（尾張家9代宗睦正室）所用  
江戸時代 寛永16年（1639）



福君江戸下向行列図（部分）  
江戸時代 19世紀

## 〈葬〉 人生の終焉

人によって違いはありますが、身分の上下を問わず平等に訪れるのは、人生の終焉です。尾張徳川家は、初代義直の墓が定光寺（愛知県瀬戸市）、十四代慶勝と十六代義宣の墓が西光庵（東京都新宿区）、十五代茂徳の墓が寛永寺（東京都台東区）に営まれた例外を除くと、当主の墓は建中寺（名古屋市東区）に営まれ、尾張徳川家の代表的な菩提寺となりました。当主の歿後は追善の法会が行われ、菩提寺には故人ゆかりの品が納められました。



徳川義直遺訓 徳川光友宛 二巻の内  
江戸時代 慶安3年（1650）

## 祭 年中行事と祖先祭祀

先祖の霊を祀る儀式一般をさすほか、正月や彼岸、盆などの年中行事や中元や歳暮に行われる贈答の習慣も「祭」に含まれます。



千代田之御表 日光御社参 楊洲周延画 三枚続  
明治時代 明治30年（1897）



千代田之大奥 七夕 楊洲周延画 三枚続  
明治時代 明治29年（1896）



## 展覧会関連イベント

### ◆学芸員の推しトーク「大名の冠・婚・葬・祭」

展覧会で特にご覧いただきたいポイントや、企画構成する上でこだわったポイントなど、担当学芸員ならではの視点で見どころをお話しします。

講師： 当館学芸部マネージャー 並木昌史

日時： 2022年6月19日（日） 午後2時～2時30分（開場：午後1時30分）

定員： 60名 ※当日会場にて先着順・入館者聴講自由

会場： 講堂

### ◆土曜講座「尾張徳川家の殿様になる」

講師： 当館学芸部マネージャー 並木昌史

日時： 2022年6月11日（土） 午後1時30分～3時（開場：午後1時）

定員： 60名

※事前申し込み制で既に満席。空席が出た場合のみ当日先着で受講可。

会場： 講堂

受講料： 800円（入館料別途必要）

### ◆トクガワナイトミュージアム ver.4（仮）

ゆっくりと「大名の冠・婚・葬・祭」展ならびに「名刀正宗と相模伝」展の鑑賞をお楽しみいただける夜間特別開館を実施いたします。

日時： 2022年7月9日（土） 17時30分～19時30分

定員： 100名（最少催行人数30名）

料金： 一般3,800円（税込） 学生1,000円（税込・大学生以下）

購入方法： オンラインチケット 購入先着順 <https://www.e-tix.jp/tokugawa-art-museum/>  
館内ミュージアムショップ

発売日： 2022年6月4日（土）



## 視聴者・読者プレゼント提供

企画展「大名の冠・婚・葬・祭」を、ぜひ御社媒体にてご紹介ください。

画像を1点以上使用してご紹介いただいた場合、視聴者・読者プレゼントとして本展覧会のご招待チケット（非売品）を、1媒体5組10名様にご提供いたします。（本券で同時開催の特別展「名刀正宗と相模伝」もご覧いただけます。）

## お問い合わせ 取材は随時お受けいたします



[報道関係対応窓口] 徳川美術館 管理部

吉川 由紀 yuki@tokugawa.or.jp

竹内 大知 d.takeuchi@tokugawa.or.jp

〒461-0023 名古屋市東区徳川町1017

TEL：052-935-6262（10時～17時受付）

052-935-8222（営業時間外受付）

FAX：052-935-6261

企画展 大名の冠・婚・葬・祭

広報画像申請書 使用期間：～2022年7月18日



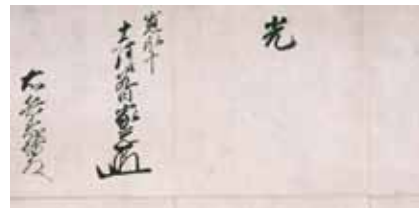
①赤色地蔓葵紋付子持筋熨斗目  
徳川綱誠（尾張家3代）・吉通（尾張家4代）幼児服  
江戸時代 17世紀 （6/21~7/18公開）  
徳川美術館蔵



②徳川直七郎（斉温・尾張家11代）宮参り行列図  
二巻の内（部分）  
江戸時代 19世紀  
徳川美術館蔵



③黒塗白糸威具足  
徳川綱誠（尾張家3代）・義宜（尾張家16代）所用  
江戸時代 17世紀  
徳川美術館蔵



④徳川家光一字書出 徳川光義（光友）宛  
寛永十年十二月廿九日  
江戸時代 寛永10年（1633）  
徳川美術館蔵

使用媒体

放送日・発売日

プレゼント提供 希望する ・ 希望しない

貴社名

ご担当者様

データ送付先アドレス

ご連絡先電話番号

[ご利用にあたっての注意事項]

- ・画像のご利用は本展覧会の紹介用途のみに限ります。
- ・部分アップのトリミング、色変更等の加工はご遠慮ください。
- ・二次利用不可です。
- ・画像には最低限「タイトル」と「所蔵」のクレジットを明記してください。
- ・内容確認のための校正原稿をお送りください。
- ・ご掲載誌、DVD等を1部「徳川美術館 管理部 広報宛」でお送りください。



〒461-0023 名古屋市東区徳川町1017

TEL: 052-935-6262 (10時~17時受付)

052-935-8222 (営業時間外受付)

FAX: 052-935-6261

担当: 吉川 yuki@tokugawa.or.jp

竹内 d.takeuchi@tokugawa.or.jp